

Vories
cure&care

病院ホームページアドレス
http://www.vories.or.jp/



ヴォーリス
だより

2017年（平成29年）11月1日 第125号

発行 毎月 1日
発行者
ヴォーリス記念病院
三ッ浪 健一
近江八幡市北之庄町492
TEL (0748) 32-5211
印刷
(有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

地域包括ケアシステムについて



診療技術部長・薬局長 古 武 まゆみ

秋が深まり、朝夕が冷え込み、1日の寒暖の差が激しい季節となつてまいりました。今年の夏の暑さには厳しいものがありましたが、今年の冬の寒さ、降雪量に思いをはせて災害とならないように念じております。先日、日本病院薬剤師会の療養病床委員会の会議に参加した折りに、滋賀県は地域包括ケアシステムが進んでいるらしいので、是非委員会で説明をしてほしいと要望があり、主に東近江医療圏での報告をいたしました。

療養病床委員会とは、日本病院薬剤師会の会員病院で200床以下の病院において、療養病床が全病床の80%をしめる病院もしくはケアミックスの病院を対象とした委員会です。急性期医療を行っている病床数が多い病院とは病院機能分担が異なっており、病院、施設間の連携や他職種の連携が病院の機能上必要となります。

地域包括ケアシステムとは、日本では諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しており、団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025年（平成37年）以降は、国民の医療や介護の需要が更に増加することが見込まれていますので、2025年（平成37年）を目途に、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的として、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を厚生労働省が推進している地域体制のことで、住む地域により高齢化率や人口、医療、保健、福祉、介護体制に差がありますので、その地域独自のシステム（体制）を市町村や都道府県が作っていく必要があります。

滋賀県はこの度、長野県を抜いて長寿日本一となりました。しかし医療費額は全国では上位ではありませんので医療費を使って長寿となったのではない事を示しています。滋賀県には、7つの医療圏（大津、湖南、甲賀、東近江、湖東、湖北、湖西）があります。近江八幡市は東近江医療圏（近江八幡市、東近江市、蒲生町、日野町）に含まれます。滋賀県の地域包括ケアシステムの体制が進んでいるといわれるのは、東近江医療圏を中心とした「三方よし研究会」の存在によるところが大きいのと思われます。三方よし研究会では、近江商人の精神である「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」を「患者よし」「機関よし」「地域よし」と置き換えて、患者さん本位の視点に立った医療・保健・福祉・介護の切れ目ないサービスの提供体制を構築するため、行政を含めた関係機関の機能分担と連携のあり方を検討しています。また、ICTネットワークにより、患者さんの同意の基、各病院の電子カルテデータが相互に閲覧できるようになっています。現在は、「子三方よし」として、「地域連携パス」や「はちまんつながりネット」等の連携会議が開催されており、お互いに顔が見える関係を構築してコミュニケーションがよくなっています。病院薬剤師にとっても、地域会議では開局薬剤師の方と連携できる場となっています。この東近江医療圏で、高齢者の方が尊厳をもち自立して生活できる体制が更に整うよう願っています。

最後になりましたが、私は今年の12月で定年退職を迎える事となりました。37年間ヴォーリス記念病院でお世話になりましたが、周囲でお支えいただきました職員の皆様、患者様をはじめ皆様に深く感謝を申し上げます。皆様のご健康とご活躍をお祈りしております。

☆インフルエンザを予防するために☆

1. 予防注射をしましょう。
2. うがい・手洗いはこまめに。
3. 外出するときは、マスクを着用しましょう。

院内感染対策委員会

今
月
の
聖
句

「主よ、あなたは私の希望」

旧約聖書 詩編 71篇5節



チャプレン 安 部 勉

今月の聖句は作者が人生を省みて神さまとの関係の中にあったことを、そしてこれからも「共にいて欲しい」との切なる願いが謳われています。

この詩はユダヤの王、ダビデが作者と言われていますが、神さまへ「守ってほしい」との願いに満ちています。母親のお腹の中にいた時から神さまに「依りすがって来ました」とまで懇願します。そして年老いることへの不安も歌います。「見捨てないで下さい」と。

ダビデ王の詩、そこには指導者として王としての「孤独」を見ます。ただ神のみが心からの支えであると。

一旦、人々の前に立って指導者は毅然とした態度を示すものでしょう。果敢に勇敢に振る舞うことを期待されているのです。しかし、指導者ゆえ、敵国や人々から常に厳しい目を向けら

れ、いのち脅かされ得る不安を抱いていたのでしょう。晩年になってなお、その不安や恐れは尽きません。そして何より恐れていたのが「神に見放される」ことでした。

現代でもイスラエルの人々にとってダビデは「偉大な王」であることには変わりはありません。その彼が神さまの前にあって不安や恐れを吐露し、「守ってほしい」と願い出る姿に神さまへの絶大な信頼を見ます。

「あなたは私の希望」

人生を振り返る中に試練や悲しみ、災いを経験してなお、神さまへの信頼を謳うこと。「希望」という言葉の中にすべてを委ねる姿を思いいます。

神に委ねることの中に本当の安らぎがある、と。



ヘルシークッキング 11月



紅 白 生 酢

「人参」

エネルギー51kcal タンパク質0.9g 脂質1.2g 塩分0.5g (1人分)

<材料-4人分->

- ・大根
- ・人参



250g
50g (大根に対して
1~2割程にすると色
合いのバランスが良
くなります)

- ・塩 (下ごしらえ用)

【A】

- ・昆布だし
- ・酢
- ・砂糖
- ・塩

大さじ6
大さじ4
大さじ3
小さじ1/3



(作り方)

- ①大根と人参を5cm程の長さに千切りにします (太さは赤色が目立つので人参は若干細めにすると色合いが綺麗になります)。
- ②千切りにした大根と人参に塩小さじ2/3杯を加えて混ぜ合わせ5~10分程置いておきます。
- ③大根と人参を絞って水分をとってから良く混ぜ合わせた【A】と合わせて数時間置いて味を馴染ませます。



家庭の常備菜の定番とも言えるほど親しみのある野菜の一つ「人参」。

人参は「西洋種」と呼ばれる品種と「東洋種」と呼ばれる品種の2種に分類されます。日本では第二次世界大戦までは「東洋種」の長人参が主流でしたが、今では生産のしやすい「西洋種」の5寸人参が主流となっています。しかし、「東洋種」の人参も近年ではポリフェノールなどの抗酸化物質が取り上げられるようになったため、色とりどりの人参や原種に近い黒人参など注目を集めるようになってきています。

人参は朝鮮人参など生薬としても用いられるように、非常に栄養価の高い野菜です。特に動脈硬化予防や老化の原因になる活性酸素の抑制に役立つ抗酸化物質のβ-カロテ

ンを多く含み、その他にもカルシウムや鉄などのミネラルも含まれます。栄養補給に適した野菜ではありますが、注意したいポイントが一つあります。それは「アスコルビナーゼ」というビタミンCを分解してしまう酵素が含まれていることです。例えば、大根のサラダに人参を大根の1/6量を加えると、大根のビタミンCは85~95%も減少すると言われています。これを防ぐには、加熱か酢を加える方法が有効です。アスコルビナーゼは熱に弱く2分間の加熱で作用を失い、また、酢を加えるとその作用を弱めることもできます。そのためサラダなどに人参を使う際は、一度湯がいて使用すると良いでしょう。また、生で食べたいときは酢の物がオススメです。

つうぐ

ヴォーリス記念病院 創立100周年に向けて

当院は今から99年前の5月、「近江療養院」という結核療養所として開設しました。来年で100周年を迎えます。近江八幡の地で100年という月日、地域の皆さんに基督教の理念に基づき医療や介護、福祉の働きを担って来ました。来年の100周年に向けてこのコーナーでは病院に関連するトピックをご紹介します。

第8回

本部事務局長 藪 秀 実

「湖畔の声」によく感想文を寄せていた富永 亨兄の息子の富永 孟（つとむ）兄は京都帝国大学医学部を卒業するものの、同時に自らが肺を病むことになりました。そこで吉田悦蔵兄はヴォーリスさんと相談して、北之庄に住居を建て彼をそこで療養させることにしました。1915（大正4）年のことです。療養の結果、富永兄は癒されます。（1916年には患者診療所「明星館」が建てられ、最初の看護婦・山下あゐ姉の雇用も報告されている。）

「肺結核は全治することが可能だ！」

この嬉しい結果と強い思いがヴォーリスさんたちの背中を押すことになったのでしょう。そして富永 孟兄は1918（大正7）年の近江療養院開設時の院長に就任します。

- ・本療養院は近江基督教慈善教化財団の経営する慢性呼吸器病者の治療を計る目的を以て経営し絶対に利益を受けざる基督教主義の治療所であります。
- ・主として初期肺結核患者を収容し、入院治療を要せざる人及び重症にして全治の見込み少なき者には慎重なる診断をなし、其家庭に於いて為すべき養生法及び治療法を実際的に教えます。収容室に等級はありません。
- ・特に看護婦、特別の食餌及び其他患者より特に要求したる物の費用は例外です。実費のみ各患者より支弁して貰います。食物及び治療より利益を取りません。普通凡ての費用を支弁する為に一日金壱円五拾千銭を要します。（「湖畔の声」1919年4月号の富永兄による紹介文）

開院当時の収容人員は35名と記録されていますが、この先駆的な取り組みは全国から大いに注目されたようで、昭和初期には50名まで定員が増えています。「湖畔の声」1920年1月号には初代の渡辺光太事務長（吉田悦蔵夫人・清野姉の実父でもある）が入院患者は、本州はもちろん遠く沖縄からも療養に来ておられたことを報告しています。

また、ヴォーリスさんは1920（大正9）年に満喜子姉の実兄である広岡恵三夫妻（大同生命社長）とともに見聞を広げるために米国旅行を行っています（「失敗者の自叙伝」によると、ヴォーリスさんはこれを「大名旅行」と記し、その総額は3万ドルだった）が、療養院にレントゲン機器やピアノを土産として持ち帰っています。これらも米国の寄附者からのものだという記録が残っていますが、私たちの歩みは「神と人」から支えられたものであったことが、どのエピソードからもうかがえます。



富永医師邸宅

健康について

1 病棟 高 平 磨里衣

日々の生活の中で、「健康」ということを特別意識することなく過ごしていますが、そうして当たり前のように過ごす日々というのは、考えるととてもありがたいことなのだと感じます。

しかし意識して振り返ってみると、食事の献立や睡眠時間の確保、リフレッシュのための予定など些細なことでも健やかに過ごすために行っています。夜更かしや生活習慣の乱れが続いてしまうと疲れが出やすくなり悪循環です。

無理に健康を考えて生活するとなると長続きしないので、日頃から少しずつの積み重ねを大事にして、自分にあったリズムを身につけることが大事なのではないか、と考えます。

今ある「健康」を維持し、より長くより健やかに日々を過ごすためにも、日々を振り返り思いを馳せてみるのも良いことだと思いました。



〈～褥瘡（3）～〉 紹介

褥瘡対策委員会 医師 北 野 晴 久

3回に分けて、「褥瘡」に関する話を進めてきましたが、今回は、褥瘡の治療を説明します。

「褥瘡」の治療法には、大きく分けて、外用薬を用いた治療法、ドレッシング剤を用いた治療法、傷んだ組織を除去したり、皮膚を移植したりする外科的治療法、陰圧維持管理装置を用いた局所陰圧閉鎖療法などがあります。

褥瘡の多くは、細菌感染が伴っていますが、治療には、抗生物質の入った外用薬を使うものではありません。菌量を増やさないと、欠損した組織や皮膚を再生させて、菌の生きられるスペースをなくすることが、治療の基本です。

褥瘡のような創の治療の仕方は、その部分に不良な肉芽組織がなく、適切な水分があると、欠損した組織や皮膚が再生します。Moist Wound Healing（湿潤環境療法）という考え方があり、乾燥させて、かさぶたを張らして治すというDry Wound Healing（乾燥環境療法）という古い考え方とは全く逆の考え方です。

ケガをしたときに、絆創膏を貼るのは、Dry Wound Healingで治療することであり、キズパワーパッド™などを貼るのは、Moist Wound Healingで治療することになります。Moist Wound Healingで治療すると、創は癒痕になりにくく、顔のように一生創が残らな

い方がいいような創の治療に適しています。

キズパワーパッド™のようなドレッシング剤を用いた治療を褥瘡でも行いますが、創の深さが浅く、細菌感染が軽度な場合にしかできません。

深い創や、明らかな感染の創に対しては、外用薬を用いますが、吸水力を考慮して外用薬を選択しますので、Moist Wound Healingの考え方に変わりはありません。

また、局所陰圧閉鎖療法も、装置を用いて、褥瘡の水を吸引して治療をすすめますので、Moist Wound Healingの考え方が、褥瘡の治療のベースとなります。

「褥瘡」の治療の手段は、「癌」の治療と比べると、少ないものの、患者さんによって、全身状態だけでなく、創の部位・状態等がことなるので、患者ひとりひとりに対処方法を、じっくり検討して、明確な根拠をもとに治療しなければ、「褥瘡」は治りません。

日本褥瘡学会では、慣習的な診療や診療担当者の経験のみに頼るのではなく、科学的な根拠に基づく診療を実践できるよう、情報発信しており、当院では、このような情報や手技・手法を、積極的に取り込んで、「褥瘡」の治療に取り組んでおります。

報告1

新着任医師紹介

脳神経外科 深 見 方 博 まさ ひろ

この度9月19日からヴォーリズ記念病院に赴任致しました深見です。昭和59年に兵庫医科大学を卒業後、2年間大学の脳神経外科で研修（6か月麻酔科にローテーション）し、高松日赤、名古屋徳洲会病院などを経て、平成2年から2年間京都の国立（当時は療養所）宇多野病院に勤務しました。宇多野病院では主にてんかんの手術などを行いながら、在籍中に京都府の美山町（当時は北桑田郡でしたが現在は南丹市）に週1回診療に行きましたが、初めて「本当の地域医療」を経験しました。その後は大学に戻って研究と臨床をしましたが、在職中にあの阪神大震災を病院の10階の当直室で経験し、大学病院の環境が嫌になり、平成11年に大学を退職して宇多野病院に戻りました。その後18年11月から天津市の療養型病院に移りました。以後ほぼ11年間療養型で勤務しましたが、2年位経過した頃に救急医療が恋しく（？）なり、毎週末京都の救急病院の「内科当直」を現在でも続けており、そのおかげで総合診療的な医療ができると自負しています。大学が私学でしたので、我々の時代は研修医の時から京阪神の救急病院に当直に行き、大学以外の病院では整形外科、消化器、呼吸器や婦人科の手術などにも参加しており、これらの経験は、特に高齢化社会が加速している現在では「患者の全身を

診る事」を求められており、今更ながら非常に役に立っています。

また宇多野病院時代から感染対策には関わっており、褥瘡にも長年携わっていて、是非この病院でもお役に立ちたいと考えています。前の病院では訪問診療も行っており、当院でも来月から参加する予定で、認知症相談医もしておりましたので、認知症関係でも是非何らかの形で参加したいと考えています。

さて、今回当院に就職するに当たっては面接の時に大きな驚きが二つありました。一つ目は、私の父と周防院長先生の父上が、実は大学時代からの親友であり非常に御世話になっていて、私の実家にも来られたことがあったこと、二つ目は、理事長の三ッ浪先生が私の師匠（現在は宇多野病院の統括診療部長）の同級生であったことです。まさかこの地でお会いするとは思いません、一番驚いていたのは私の母でして「天国で二人で笑ってるねえ」と言っておりました。まさに世の中は狭いということなのか、そのおかげで全く抵抗なく当院に勤務することを決断できました。

まだ病院では迷うこともありますが、早く慣れてこれまでの経験を活かしてヴォーリズ記念病院のために働きたいと考えますので何卒宜しくお願い致します。

報告2

健康フェスティバル2017に参加して

経営企画室 西山 洋 平

9月10日（日）「健康はちまん21プラン」推進事業 健康フェスティバル2017に参加させて頂きました。当日はスポーツフェ



スティバルも同時開催されており、小さなお子さんからシニア世代まで多くの方で賑わっていました。健康フェスティバルでは、地域住民に向けた健康公開講座や血管年齢測定、骨密度測定、おくすり相談コーナーなど全部で13ブース設けられていました。当院は医師会のブースをお借りして、血圧脈波測定を実施させて頂きました。当院からは臨床検査技師2名と事務職3名が参加致しました。整理券を

先着20名に配布させて頂きましたが、受付開始直後に整理券残り2枚となる大盛況でした。検査は1名につき6分程度お時間を頂くため、20番目になると受付から約2時間後になってしまいます。時間の都合が合わなくて2名ほど辞退されたその時です。シニア世代の夫婦が受付に来られました。「検査受けることができますか？」と心配そうに聞いて下さいました。丁度2名分で整理券が終了ですとお伝えすると、すごく安堵した表情をされました。どうされたのかお尋ねすると、ウォーリス日より9月号を持参されてのご来場でした。チラシではなくウォーリスだよりの内容を頼りにお越しになられたということで、途中バス停を降りてから迷われてのご来場ということでした。血圧脈波測定を目当てに来られたということで、無事ご夫婦で受けて頂くことが出来て安心しました。当院は地域住民の健康推進に少しでもお役に立てればと考えております。来年も健康フェスティバルが開催されます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

報告3

第1回 消火・避難訓練

経営企画室 永 福 喜美江

9月19日（火）14:00から、ホスピス希望館2階湯沸室から出火ということで、ホスピス病棟の（模擬）患者さんの避難・誘導を想定して消火・避難訓練を行いました。

患者さんを安全な場所に避難し、各課、各班長、各係が、別館1階入口前に設置の自衛消防隊本部に報告し避難完了です。その後、水消火器を用いた消火の訓練を行いました。

病院では、年2回以上の消火・避難訓練の実施が義務付けられています。実際の災害時では、マニュアル通りにはならないかもしれませんが、繰り返し訓練を行うことで、日頃から危機管理意識を高め、もしもの時には自分達は何をすべきか迅速に判断、行動できるよう、真摯に取り組んでいきたいです。



報告4

ソフトボール大会

2病棟 上 村 智 也



9月23日（土）に今津総合運動公園にて、県内病院のソフトボールチームが集まっての大会が開催されました。

前日からの雨で開催が危ぶまれましたが、何とかグラウンドコンディションも整い、我がウォーリス記念病院ソフトボールチームも参加させていただくことが出来ました。

1・2回戦を順調に勝ち進み、続く3回戦は強豪市立長浜病院さん。優勝候補だと聞き、俄然やる気が出るのが我がチーム！キャプテン中西選手を筆頭に必死に食らいついた結果、8対8の同点。決着はなんとジャンケン！

その結果、ジャンケンで負けてしまいましたが、皆笑顔で満足のいく結果になりました。

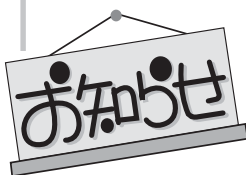
ただ、途中で怪我人を出してしまうという残念なこともあり、そこは悔やまれることになりました。皆で早期の回復を祈っています。

私達がこうして毎年参加させて頂いているソフトボール大会ですが、もちろん選手だけで開催出来るものではありません。

院長はじめ毎年同行して頂いている澤谷事務長、怪我人の代わりに急遽出場して頂いた経営企画室の西山室長、いつも差し入れや道具の購入をして下さる堀井部長（選手としての復帰も待ってます）など、数えればきりがいいほどの方に支えられて活動が出来ていることを忘れず、これからも続けていければと思います。

そして、職場の仲間達と職場以外でもこうして集まれる喜びを力に変えて、日頃の業務に当たりたいと思います。

来年は、優勝を目指します！ ありがとうございました！



▶ 糖尿病及び生活習慣病教室のお知らせ

シリーズで月に一度、木曜日に糖尿病、生活習慣病に関して、実際の食事をご用意し、病気の知識や治療法についての教室を開きます。詳しくは管理栄養士か外来看護師あるいは担当医師にお尋ねください。

日 時 **11月16日(木)** 12:00~13:30 場 所 新館研修室(病院内)
講 師 薬剤師

主治医の指示のもとに参加できますが、あらかじめお申し込みが必要です。



近江八幡市介護予防拠点事業

ヴォーリス介護予防教室のご案内 (平成29年度)

開催日程表

回	日 程	内 容	担当・講師
4	11月16日(木) 14:00~16:00	「あたまの体操」	ヴォーリス老健センター 作業療法士 野澤 幸江 氏
5	2月22日(木) 14:00~16:00	「ひとり暮らしでも 最期まで我が家で」	訪問看護ステーションヴォーリス 在宅看護専門看護師 田村 恵 氏

- ①対象者 おおむね65歳以上の方 定員：30名
- ②場 所 アンドリュース記念館(旧YMCA会館)
近江八幡市為心町中31番地(近江八幡教会の隣)
- ③参加費 無料
- ④申し込み 4回目11月14日(火)までに往復ハガキで
①住所 ②氏名 ③年齢 ④連絡先電話を
記入の上、下記の係りまでお申し込み下さい。

〒523-0806 近江八幡市北之庄町492
ヴォーリス記念病院内 介護予防教室係 まで
お問い合わせは、ヴォーリス記念病院内
ホームヘルプステーション
担当 田井中
(Tel 32-7130 Fax 36-5458) まで

患者支援センター

患者様やご家族様に住み慣れた生活の場で、安心して療養生活を
送って頂けるようサポートします!!

- ・健康保険、介護保険等の社会保障制度について
- ・在宅での生活、介護についての不安
- ・施設の入所や利用について
- ・地域の病院・開業医の皆様からの受診・入院依頼
...等

お気軽にご相談ください!

TEL (0748) 32-5211 (代)
FAX (0748) 36-5412 (直)
E-mail info@vories.or.jp (代)

※センターは正面玄関入って左側にご覧いただけます。

お知らせ

ヴォーリスいのちのケア講演会

会 場：ヴォーリス学園平和礼拝堂

(住所) 滋賀県近江八幡市市井町177

ヴォーリス学園本館5階

(アクセス) 琵琶湖線「近江八幡駅」から近江バス

(長命寺・休暇村・市内循環行き)

「ヴォーリス学園前」下車

※駐車場台数に限りがありますので、できるだけ
公共交通機関をご利用下さい。

平成29年
11/12(日)

開演14:00

(開場13:30)

入場料：500円

(当日会場で申し受けます。)

■ 第1部

- ・コンサート 演奏：よし笛 近藤 ゆみ子氏
- ・スライド上映「ホスピス希望館10年のあゆみ」

■ 第2部

- ・記念講演

「ヴォーリスホスピスが取り組むいのちのケア」

演者：ヴォーリス記念病院 ホスピス長 細井 順氏



▶ お申し込みは、FAX、またはE-mailでのお申し込みになります。

受付は10月1日(日)からです。

当院ホームページからFAX用紙をダウンロードし、必要事項をご記入ください。

又は、FAX申し込み用紙が病院にございます。

FAX：0748-32-2152

HP：http://www.vories.or.jp

E-mail：kikaku-1@vories.or.jp

＜お問い合わせ＞ ヴォーリスいのちのケア講演会実行委員会

TEL：0748-32-5211(代表)

担 当：ヴォーリス記念病院 西山・永福